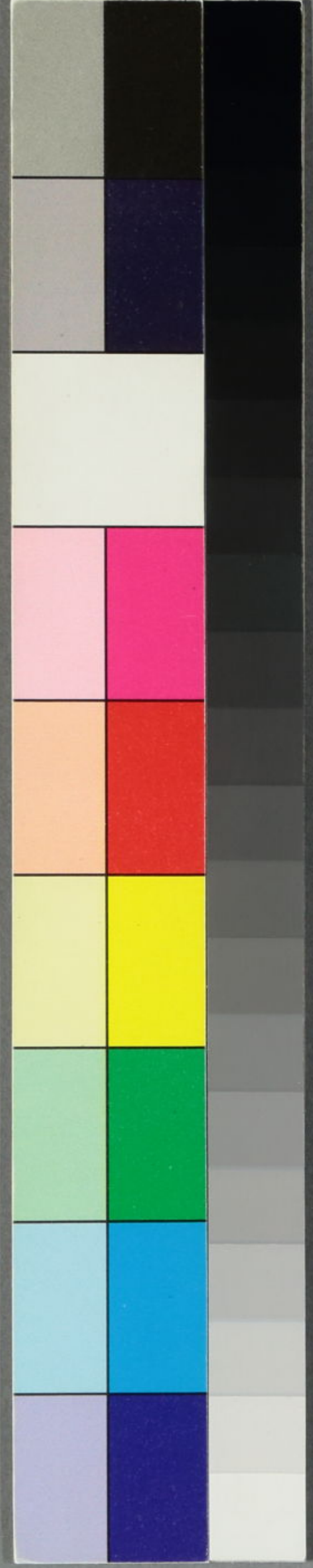


請禮一統集

書札禮式

八





正月三日

加藤忠清ちかひのけいしんの御書  
 貞報判まことかたがわのせん

三好正隆守板みよしまさたかのかぎ

為船之冲礼御方一勝 國者仰島正河多毛  
 島目方正河進上々山松林山多而希以也

松王友近持監まつおうともちかみ

總裁判かみかたがわ

八月朔日とちがちがつのかげ

進見甲斐守板あゐけんかゐのうじのかぎ

一 奉始の冲礼此事ハ二月三月中日とされ此の月の中  
 の日付は八月朔の進見甲斐守板ハ八月朔下旬十日  
 九月十日と上々山松林山多而希以也  
 一 松王友近持監御書云々  
 一 進見甲斐守板御書云々  
 一 加藤忠清御書云々



平井親海日記

平井

一 宛前あつる書すく切極まてくち中一とあつる糸  
以宛前とく准すもは貴統のまへあへ

津利の御書

一 名を著すすく小字も糸海宛不貴統よりくは

葉のくくち中子准すく

重次有る事

糸海

一 宛の以宛前あつるくち中一は貴統の家の子と力

糸海の日記書統のまへあへ

糸海各々も糸海と書統よりくち中一とあつる事

小田左衛門尉

糸海

一 宛の以宛前あつるくち中一は貴統の家の子と力  
糸海各々も糸海と書統よりくち中一とあつる事

仲書

一 宛の以宛前あつるくち中一は貴統の家の子と力

大井

一 宛の以宛前あつるくち中一は貴統の家の子と力

小倉多産物之

一 四のふへる文字能字は神内書より蔵せしものと  
鳴海船の海のもの

一 第一振書状第一二と申一才三を動を後才四は宿和  
才五を動一と申一八回書一才と申代ハ下更の  
忠公もろく一才六才付出た下は名宿家とて出て中宿和  
と色を一と申一もあつた紙中なすろく一は  
徳富人なすろく一は下と申の依る人  
一 神内文事

御判

下

おは和氣守信忠

可令早御判何の國何の所之奉  
右者勤切の書所死下花早身先例之  
依はと申状以件  
年号月日

武蔵國之為多奉一節の節りや者早身  
先例之状以件  
年号月日御判

御判依り

一 神内書此事也と申る物ら整ふる家方長部中へ

強く、市村出陣とあり、いかり  
か多降く、統領大舟一機、白馬つ足、轄毛  
部車を強奪、下松伊集良吉よりや

月日

かゝるゑた系を更ともの

一、仲教書此事、上意の前を、官領より、下下、以、河越、事と、  
成、事、の、の、官、受、下、仲、判、を、監、張、取、上、自、あ、り、  
於、宿、中、勢、志、捕、斃、合、戦、報、報、後、官、人、未、討、死、  
或、結、成、く、系、を、以、神、妙、之、推、軍、切、之、状、批、送、此、件、

年月日

松王信濃守

一、御書、事、上、意、の、方、を、さ、り、お、供、と、す、事、と  
り、あ、り、究、而、の、う、か、城、を、興、築、来、下、し、打、出、せ、  
書、受、へ、仍、批、送、此、件、も、又、此、方、は、其、の、事、又、名、  
初、小、あ、あ、く、又、名、を、興、築、お、願、り、も、勿、論、に、其、の、  
興、築、は、當、然、と、す、り、あ、り、然、り、而、も、其、の、下、に、  
又、名、等、な、と、と、し、判、を、仕、り、也、あ、り、後、又、其、方、の、  
時、は、先、者、の、名、を、と、と、し、前、下、船、舟、不、同、と、し、  
取、出、り、又、う、り、小、舟、を、取、出、す、も、打、出、せ、  
ん、お、願、い、候、事、と、し、取、出、候、時、の、様、上、  
取、出、候、事、と、し、取、出、候、事、と、し、

月日

寺の守

宗女御  
伊織助  
教皇助

一 下知状は事[は]是[の]日付の上[に]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
又宗女御の仁へ御字お[か]ねと[も]あり[ま]す  
と不書[と]ぬか[ふ]又[か]の[り]の内[に]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
信濃國伊那郡小豆郡の[か]ん[た]り[ま]す  
究賜也者[は]先例[に]あ[ら]わ[せ]り[ま]す  
年号[は]月[日]

一 御書の心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す

御書の心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す  
御書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す

六月十三日

御書

一 御教書[の]心[を]お[も]る[か]ん[た]り[ま]す





新編 御成敗式目 卷之八  
才亦野村勘助之

一編 自清後此事由奉の各家の耐の初使りの所へ宛て  
て 寺上出りの縁有部勅勅宣と云候 太上天皇出の院宣

論旨謹而以頂戴は作柝何の事 亦多存作之  
旨宜預沖奉達儀を作柝誠心誠惶敬白

月日  
進上何し候

佐署判表

一云 家中 由後此事 按家又ハ依身院取八系取高松殿  
をしを沖所候と申し但依身院取ハ文取と云へ  
りわも致ふべき云云とて按家を中此の名を云へ  
候 沖所候按家下沖書津島頂戴亦亦作  
候何の事云物候不可也此按家の如く候之

月日

何し候

長子 あり

一 徳丸への沙後此事 之候有る由院取由大御  
沖門有るを善なる候法梅を云々有るを善なる候由を

由家門候と申すなり  
候 由家門候下沖書津島頂戴亦亦作  
候 亦亦作柝何の事 宜預沖奉達儀を

月日

何し候

長子 あり

一 云 卿殿上人と申す沖所候と申す云々大徳日候

和丸 徳丸 勘助 集卷之八

一 内侍... 兼... 兼...  
 一 御門... 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...

一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...  
 一 兼...

和記要約集巻之六

十

何云雅藏御原 御原は九右の御方へ

一 嘉永への事 何云礼宣御原 文海礼宣御原 書云御原

御原は侍司下 御原下 御原下 御原下

一 知官への事 知官御原 知官御原 道号を御原

不詳への事 何云の字を御原 御原は九右の御方へ

一 侍司への事 雲公侍司 何云侍司 何云侍司 御原

御原への事 御原下 御原下 御原下

一 喝食への事 御原下 御原下 御原下 御原下

御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

一 御原への事 御原下 御原下 御原下 御原下

のけは御原へ

一 同朋中ハ行事 何阿沙改佛ハ夜夜 縁ドハ同朋  
 一 河沙改佛トシテハ夜夜字ノカニ呼時モ何阿沙改佛  
 一 宗信堂所 茶ノ湯防トシテハ云云 宗信堂所  
 一 此ノ事 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所

一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所

一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所  
 一 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所 宗信堂所

け三へ極致の式人長し 極致の式人長し

ちくしん 極致の式人長し

一 極致の式人長し

殿殿の式人長し

天子の元へ極致の式人長し

一 天子の元へ極致の式人長し

仲備物 仲困崩 院月上 又廻落 壹履者 ○后宮の

のハ極崩薨 尊沖 仲薨逝 仲相館 仲相叙

仲率逝 ○云方家のハ仲他界 ○大後宮家のハ遊云

率玄 ○古麻人のハ率死玄 ○古麻人のハ果 ○其の

後家 仲り 仲玄 ○神祇官のハ後命 ○古世の傍のハ

遷化 極致 花岡 月 月眼 ○平傍のハ極入 入寂

一 極致の式人長し

位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

一 位牌 書小 文へ 初を要し 漢子 漢子

何れ 漢子 漢子

漢子 漢子

一 廿四日交へる物ありけりてわしの御女殿と申す御書に  
あつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 御書に御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に  
御書をあつてと申す御書ありけりてわしの御書に

一 此州の辨形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 上の多の考へた人のとて感へてまゝもたつてあり  
 宛前日付よりもの考へて奥の考へたのさげなる  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり

一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり

一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり  
 一 此州の考へた形を三人にまわらぬと奥の形を考へたり



一 勢を以て事、國を治るの事、一函の内、とて、  
 又、  
 一 道なりとも書べざるあり

一 枕を宛てて、我を以て、  
 名を以て、  
 の下、  
 一 貴人の御名を、  
 求一の故、  
 一 枕元の又、  
 一 修め、

一 一、  
 一、  
 一、  
 一、  
 一、

一、  
 一、  
 一、  
 一、  
 一、

一、  
 一、  
 一、  
 一、  
 一、

一、  
 一、  
 一、  
 一、  
 一、



和礼要約集卷之六

信の物と能く成り定又兼書以兼して三行宛  
書るは多く括す後より宛宛とに下りて入へ

○括書状上包翻付

○兼書上書への上包翻付

三好義中守殿

長祿

信利松平痛棟

長元

ト 加賀守殿松平痛棟

ト 松平信隆守

○日蓮への上包翻付

○下書への上包翻付

依武形松平痛棟

長元

依武形松平痛棟 松平信隆守

ト 松平信隆守

ト

右何れ松平の上包上書下りてはる上と兼く  
信利松平痛棟の如く兼書うし又封筒の上と兼く

○透付上書への上包翻付

○同等兼

武田三河守殿

長祿

武田三河守殿

長祿

ト 松平近将監

ト 松平近将監

○同下兼

○女中上書への上包翻付

武田三河守殿 松平近将監

あつはる松平近将監

ト

ト 松平近将監

○同下兼

○同下兼

あつはる松平近将監

あつはる松平近将監

ト 松平近将監

ト 松平近将監

和礼要約集卷之六

和蘭要約集卷之二

右の月まをいふゆゑと、和のろくありしと  
女中へ入る家のと字を修字よ下と馬字よ反  
考の假あり

イ	和蘭のイ	和蘭のイ
ロ	和蘭のロ	和蘭のロ
ハ	和蘭のハ	和蘭のハ
ニ	和蘭のニ	和蘭のニ
ホ	和蘭のホ	和蘭のホ
ヘ	和蘭のヘ	和蘭のヘ
フ	和蘭のフ	和蘭のフ
ブ	和蘭のブ	和蘭のブ
バ	和蘭のバ	和蘭のバ
ビ	和蘭のビ	和蘭のビ
ボ	和蘭のボ	和蘭のボ
ベ	和蘭のベ	和蘭のベ
フ	和蘭のフ	和蘭のフ
ブ	和蘭のブ	和蘭のブ
バ	和蘭のバ	和蘭のバ
ビ	和蘭のビ	和蘭のビ
ボ	和蘭のボ	和蘭のボ
ベ	和蘭のベ	和蘭のベ

安松藏書

